



よく遊び、よく学ぶ。学生は、部・同好会活動も精力的に取り組んでいます!!

F-SCAE部

8月21日(月)~25日(金)ONLINEでの静的審査後、8月28日(月)~9月2日(土)に静岡県のエコパで開催された『学生フォーミュラ®日本大会2023』に参戦しました。総合成績は69台中40位となりました。

大会理念 ものづくりの機会を提供することによって、大学・高専等の工学教育活性化に寄与する

※学生フォーミュラ：学生自らがチームを組み約1年間でフォーミュラスタイルの小型レーシングカーを開発・製作することによって、学生がものづくりの本質やそのプロセスを学び、ものづくりの厳しさ・おもしろさ・喜びを実感する。競技会では、走行性能だけでなく、車両のマーケティング、企画・設計・製作、コスト等のものづくりにおける総合力を競う。学生に対しては自己能力向上の場、企業に対しては将来を担う有能な人材発掘の場を提供する。



二輪整備部会 Suzuka Racingチーム メカニックサポート

9月2日(土)、3日(日)大分県のオートポリス国際サーキットで行われた「MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 スーパーバイクレースin九州」にSuzuka Racingチームのメカニックサポートとして学生2名が参加しました。予選、本選共にSuzuka Racingチームのメカニックとのコミュニケーションを積極的にとり、燃料の給油、残量計算、燃費計算、車両整備、タイヤ管理等をミスなく果たすことができました。ライダーの杉山さんは、JSB1000のマシンでオートポリスを走るの初めてでしたが、目標の15位以内(Race1:15位/Race2:13位)でゴールすることができました。



今回のレースは、Suzuka Racingも限られたスタッフ体制で臨んでおり、レース終了後には、学園生へお礼の言葉を頂きました。

今回のレースは、Suzuka Racingも限られたスタッフ体制で臨んでおり、レース終了後には、学園生へお礼の言葉を頂きました。

エコラン部

9月9日(土)、10日(日)栃木県のモビリティリゾートもてぎで開催されたHondaエコマイルレッジチャレンジ2023「本田宗一郎杯 第42回全国大会」の2輪クラスへ参戦しました。9日(土)は走行ラインや平均スピード、周回数カウント方法の確認などを行いました。移動中や宿泊先でも、決勝に向けての作戦会議をくりかえし行い、



10日(日)の決勝レース直前まで、更にできることを検討し、少しでも記録を伸ばそうとする姿勢に成長を感じました。

決勝の結果は、10位で平均燃費162.891km/Lとなり、昨年度より順位・燃費ともに落ちてしまいました。今回の結果をしっかりと検証をした上で、来年度の地区・全国大会での挽回を期待します。

トップトーク



1月24日(水)本田技研工業株式会社 取締役 代表執行役副社長 最高執行責任者の青山 真二さんにONLINEで「ホンダの価値提供の根幹と第二の創業」という題目で貴重な講話をしていただきました。「How we move you.」*に込められた想いや考え、日本やアメリカで開催された大型イベントへの出展、そして、そのイベントで発表した新しい価値を持ったクルマと新たなHマークに込められた意味など、未来を感じた重要な機会となりました。



※グローバルスローガン「How we move you.」には、Hondaの一人ひとりの夢を実現する力が、人と、人の心を動かすことを示しています。100年に一度の大変革期の中で、これからもHondaが「存在を期待される企業」であり続けるためには、電動化やデジタル化といった手段の先にある、「Hondaのありたき姿、真に実現したいこと」、そして「提供価値」を今一度明確にする必要があると考え、グローバルブランドスローガンである「The Power of Dreams」の再定義を行いました。



大阪狭山市から「GYRO CANOPY」修復のご依頼

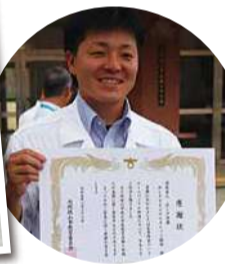


4月に大阪狭山市教育委員会から、小学校訪問等で活用していたHondaの三輪バイク「GYRO CANOPY」が動かかない状態で届きました。街の修理工場では直せないとわれ、ホンダテクニカルカレッジ関西が修理を依頼されたものです。

洗車を行い、動かさない原因を調べると、不具合箇所が多くあり、新たな部品の手配などで、当初の想定に対し多くの時間を要しました。夏季休暇明けに最終調整とテスト走行を行い問題がないことを確認し、8月30日(水)に車両の引き渡しことができました。

学園生の有志が集まり、無事にやり遂げることができ、8月31日(木)には大阪狭山市狭山中学校で、改めて大阪狭山市への納車式が挙行政され、感謝状を頂きました。この活動は地域情報誌の「金剛コミュニティ 9月14日(1566号)」に「広報 おおさかさやま」にも記事が掲載されました。

※GYRO CANOPY:雨の日も快適なルーフ付き三輪バイク。用途に合わせて使える大型デッキも装備。荷物の配達等で、今もなお大活躍しているバイクです。



HRC講話



1月17日(水)放課後にHRC*二輪レース部から高田様、横山様、中野様をお招きして、「CBR1000RR-R 電子制御の紹介」をしていただきました。二輪レースに興味のある学生に向けて、鈴鹿8時間耐久レースを2連覇した車両を題材にした電子制御の技術を実際の測定データを使って解説していただき、MotoGPライダーの裏話もあり、多くの学生が真のレーシングスピリッツを感じる機会となりました。

※HRCは株式会社ホンダ・レーシングの略称で、レースへの熱い情熱を受け継ぐモータースポーツのスペシャリスト集団です。世界のレースに参加し、さまざまなノウハウを蓄積させながら、よりポテンシャルの高いレーシングマシンを開発する上で培った情報をHondaへフィードバックさせています。



アイテム(工具)講話



「一流のメカニックは工具を使いこなす」

7月11日(火)放課後にMAC TOOLS様より講師をお招きして、自動車整備士にとって欠かせないアイテム(工具)の講話を実施しました。会場には、多くの種類の工具が並び新製品もご紹介いただきました。希望した多くの学生が参加し、熱心に講話を聞き、実際に工具を触って確かめていました。学生はもちろん、先生達も新しい工具の勉強をさせていただきました。



新任

10月 池田 健一朗 自動車整備科 (Honda 埼玉製作所)
12月 小野 多津子 ホンダ学園 法人本部(西) (ホンダ学園 法人本部)
3月 吉良 暢博 一級自動車研究開発学科 (Honda 電動事業開発本部)

異動

1月 LE KHA TUAN 退職 (自動車整備留學生科)

※()は異動前所属名称

2024年1月 LE KHA TUAN 自動車整備留學生科▶退職

自動車整備留學生科を卒業後、ご縁があり2021年4月にホンダ学園 関西校へ入社、約3年間お世話になりました。学園での生活は日々発見で色々な経験をさせていただき、楽しく過ごすことができました。この度、私は夢を叶える一歩を踏み出すためにホンダ学園を離れることを決意しました。皆さんも夢へ向かってあきらめず一杯チャレンジしてください。応援しております。



日々のNews 公開中!!

学園での日常生活や、学生の様子など様々な記事を掲載しています

